



金関 環
(かなせき たまき)

奈良県生まれ。高校卒業後渡米。アメリカ・ジュリアード音楽院にて弦楽器奏者黄金期の偉大なヴァイオリニスト＝ジョセフ・フックス教授の門下生となる。同時に、ヴィオラを師事。同学院卒業および同学院修士課程修了。

ニューヨークを中心に室内楽の演奏活動を行う。これまでに、ジュリアード音楽院にてJ. フックス教授の助手や講師の他、ニューヨーク・カーネギー・ワイル・リサイタルホールをはじめ、コロンビア共和国、東京、大阪など各地でリサイタルを開催。帰国後、関西にてラ・ストラダ弦楽アンサンブルを結成し、コンサートマスターを務める。NHK-FM リサイタルに出演。関西や東京のプロオーケストラにソリストやゲストコンサートマスターとして出演。

信念に基づく独自の演奏や人間の情緒に深く根ざした豊かな表現力、作品の持つリズムを大切に様々な演奏活動を展開し、特に、巨匠時代の名演を愛する音楽ファンから高い評価を得ている。

☆公式ホームページ <http://tamaki-kanaseki.web.officelive.com>



裕 千保
(はざま ちほ)

7歳から憧れのピアノを始める。大阪教育大学教養学科音楽コース卒業。

在学中からソロ、室内楽、伴奏等の演奏活動を開始し、ソロ・アンサンブル等で新人演奏会にも多数出演。在学中にはリート伴奏でチャールズ・スペンサー氏のレッスンを受講。

1994、95年連続で、日本ピアノ教育連盟オーディションにてフォーレ、ドビュッシーの部門で奨励賞受賞。大学在学中にヴァイオリニスト金関環氏に見出され、それ以降、金関氏とも関西、東京を中心に演奏活動を展開し、好評を博している。

現在、ソロ、室内楽を中心に関西、東京等で活躍中。特に、モーツァルト、ベートーヴェンを中心とした古典・ロマン派の表現に優れ、美しい音色で絶賛される。

ピアノを故 井上直幸、竹内啓子、宮本弘子、小林かずみ、小柳美奈子の各氏に師事。